

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

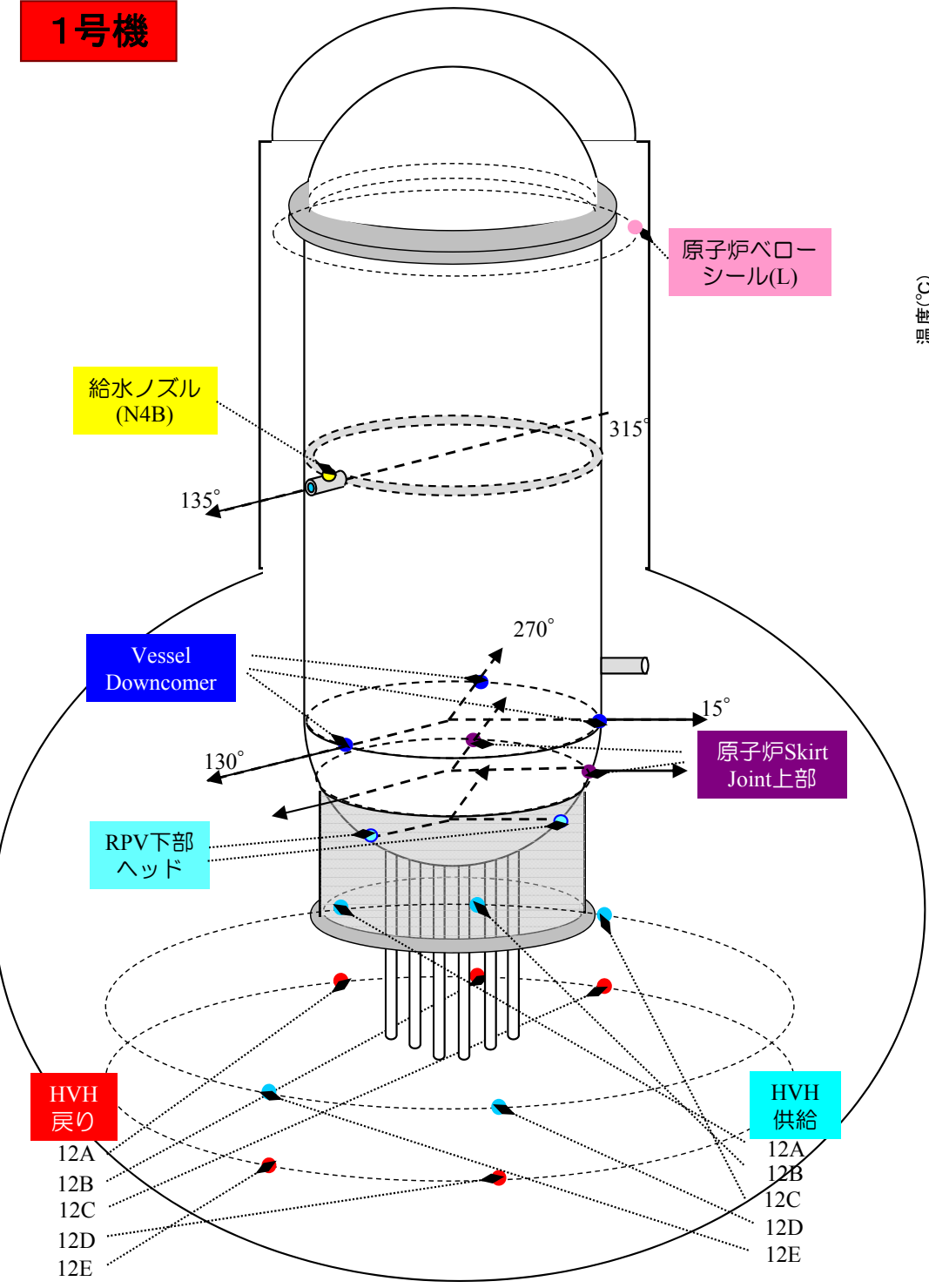
号機	1号機		2号機		3号機	
	1月31日	2月28日	1月31日	2月28日	1月31日	2月28日
原子炉注水状況	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (1/31 11:00 現在)	給水系：1.6m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (2/28 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (1/31 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (2/28 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (1/31 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (2/28 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：13.5℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：13.4℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：13.2℃ (1/31 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：13.1℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：12.9℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：12.8℃ (2/28 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：19.0℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：18.4℃ (1/31 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：18.7℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：18.7℃ (2/28 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：18.3℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：16.8℃ (1/31 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：18.0℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：16.4℃ (2/28 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：13.7℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：13.1℃ (1/31 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：13.3℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：12.8℃ (2/28 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：19.5℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：19.4℃ (1/31 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：19.1℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：19.2℃ (2/28 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：18.0℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：16.4℃ (1/31 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：17.5℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：15.9℃ (2/28 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	1.14kPa g (1/31 11:00 現在)	0.87kPa g (2/28 11:00 現在)	3.26kPa g (1/31 11:00 現在)	4.07kPa g (2/28 11:00 現在)	0.28kPa g (1/31 11:00 現在)	0.28kPa g (2/28 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH)：14.21N ^m /h (JP)：14.68N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (1/31 11:00 現在)	RPV (RVH)：14.07N ^m /h (J)：14.54N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (2/28 11:00 現在)	RPV：12.73N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (1/31 11:00 現在)	RPV：12.73N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (2/28 11:00 現在)	RPV：16.95N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (1/31 11:00 現在)	RPV：16.97N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (2/28 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.02vol% B系：0.00vol% (1/31 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：-vol% ※6 (2/28 11:00 現在)	A系：0.05vol% B系：0.03vol% (1/31 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.07vol% (2/28 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.05vol% (1/31 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.07vol% (2/28 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：1.09E-03Ba/cm ³ B系：6.40E-04Ba/cm ³ (1/31 11:00 現在)	A系：9.60E-04Ba/cm ³ B系：-Ba/cm ³ ※6 (2/28 11:00 現在)	A系：ND (1.7E-01Ba/cm ³ 以下) B系：ND (1.5E-01Ba/cm ³ 以下) (1/31 11:00 現在)	A系：ND (1.6E-01Ba/cm ³ 以下) B系：ND (1.5E-01Ba/cm ³ 以下) (2/28 11:00 現在)	A系：ND(2.5E-01Ba/cm ³ 以下) B系：ND(2.5E-01Ba/cm ³ 以下) (1/31 11:00 現在)	A系：ND(2.5E-01Ba/cm ³ 以下) B系：ND(2.5E-01Ba/cm ³ 以下) (2/28 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	26.3℃ (1/31 11:00 現在)	25.5℃ ※7 (2/1 11:00 現在)	29.4℃ ※4 (1/31 5:00 現在)	28.5℃ (2/28 11:00 現在)	27.2℃ ※5 (1/31 5:00 現在)	28.2℃ (2/28 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	3.71m (1/31 11:00 現在)	3.50m ※7 (2/1 11:00 現在)	5.96m (1/31 11:00 現在)	3.83m (2/28 11:00 現在)	3.32m ※5 (1/31 5:00 現在)	2.18m (2/28 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	1月31日	2月28日	1月31日	2月28日	1月31日	2月28日
使用済燃料 プール水温度	11.6℃ (1/31 11:00 現在)	12.3℃ (2/28 11:00 現在)	15.2℃ (1/31 11:00 現在)	17.8℃ (2/28 11:00 現在)	17.1℃ (1/31 11:00 現在)	21.4℃ (2/28 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	2.90m (1/31 11:00 現在)	3.95m (2/28 11:00 現在)	2.70m (1/31 11:00 現在)	4.60m (2/28 11:00 現在)	2.65m (1/31 11:00 現在)	2.50m (2/28 11:00 現在)

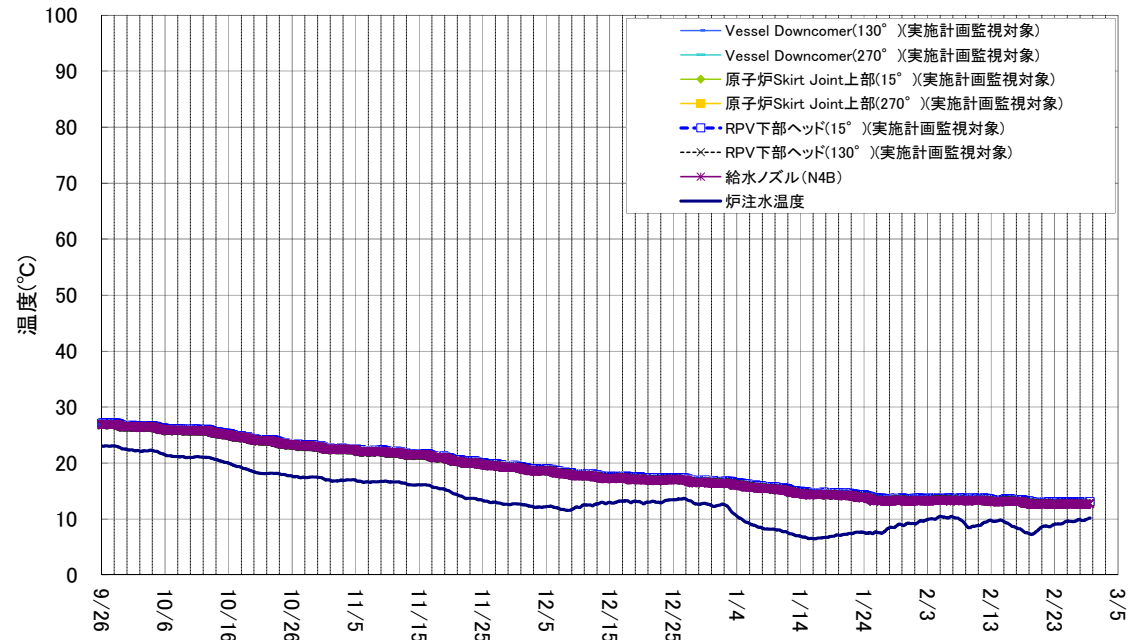
※1:使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※2:窒素封入停止中
 ※3:指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4:2号機使用済燃料プール循環冷却系停止中の為、2号機使用済燃料プール水温度に関しては至近のデータを記載。なお、使用済燃料プールの温度上昇率は0.1117℃/h程度と評価。
 ※5:3号機使用済燃料プール循環冷却系停止中の為、3号機使用済燃料プール水温度とFPCSキマサージタンク水位に関しては至近のデータを記載。なお、使用済燃料プールの温度上昇率は0.087℃/h程度と評価。
 ※6:作業に伴いデータ欠測
 ※7:1号機使用済燃料プール循環冷却系停止中の為、1号機使用済燃料プール水温度とFPCSキマサージタンク水位に関しては至近のデータを記載。なお、停止期間終了(3/12 17時)時点の使用済燃料プール水温度は約23.5℃程度と評価。

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約15℃～約35℃で推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

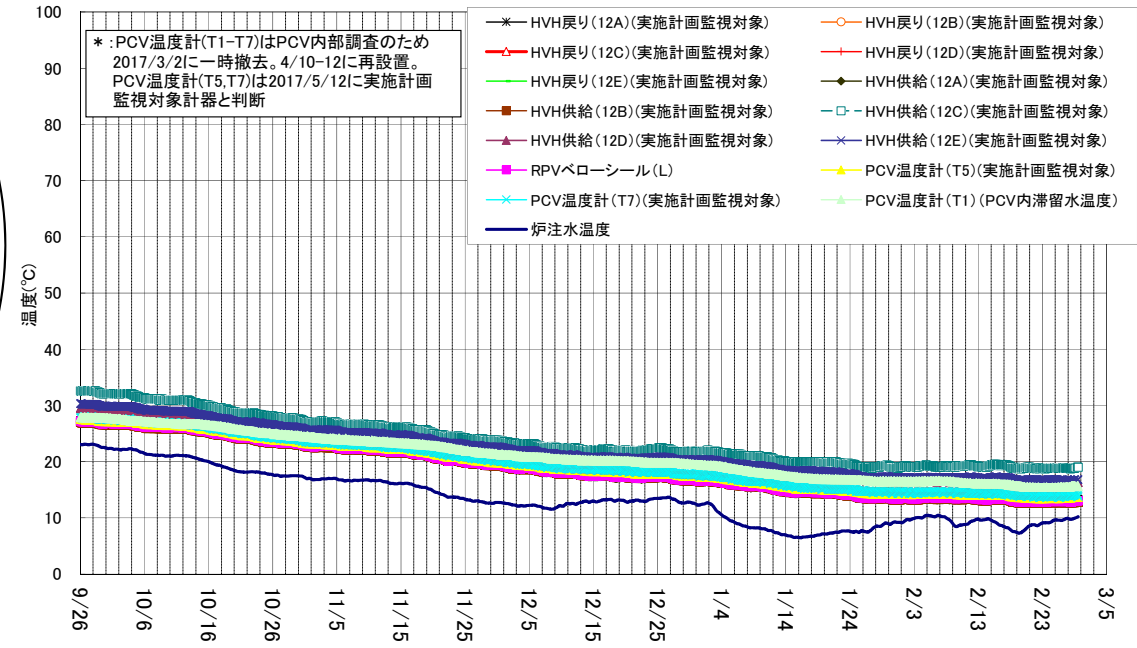
1号機



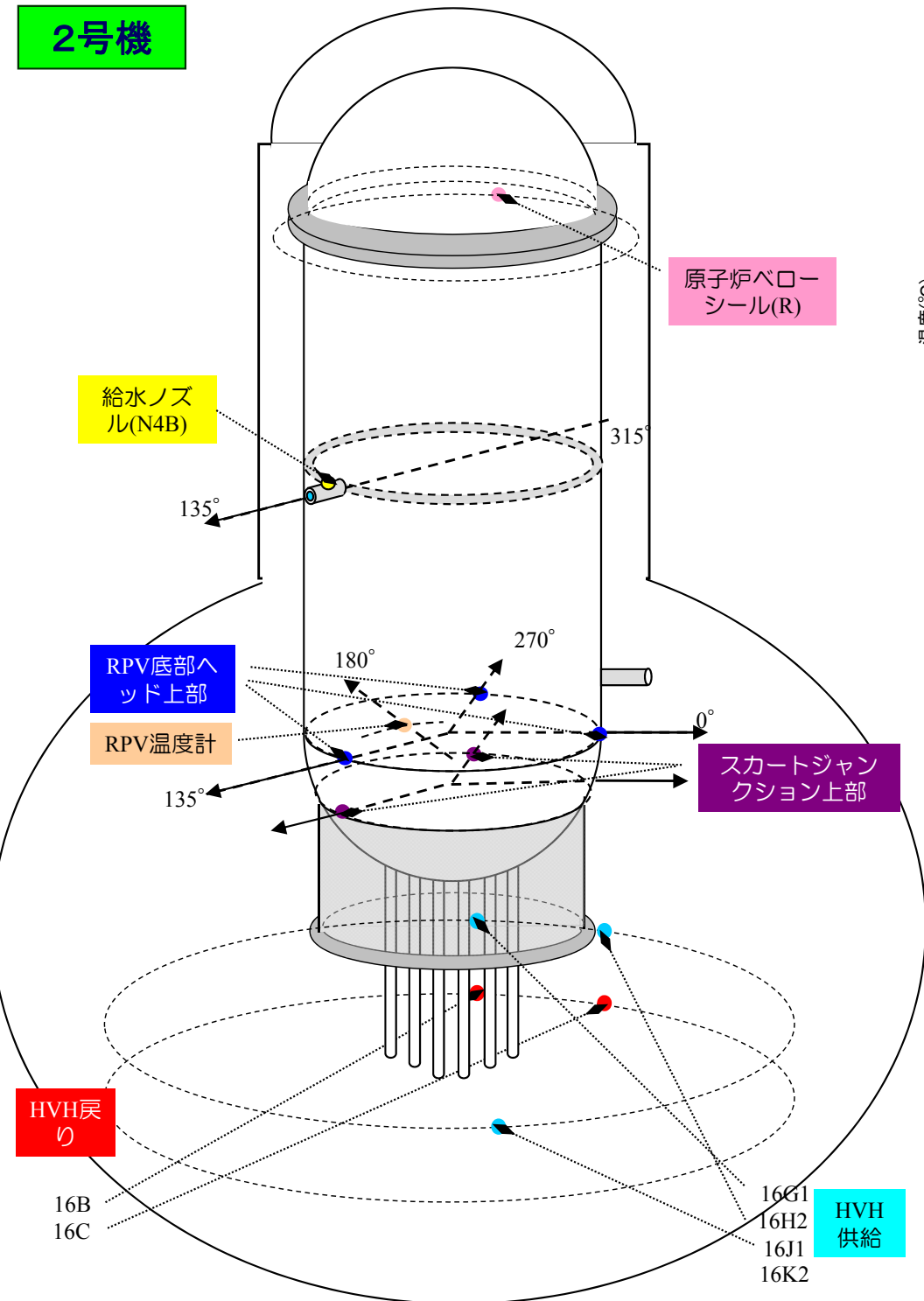
1号機 原子炉圧力容器まわり温度(9/26~2/28)



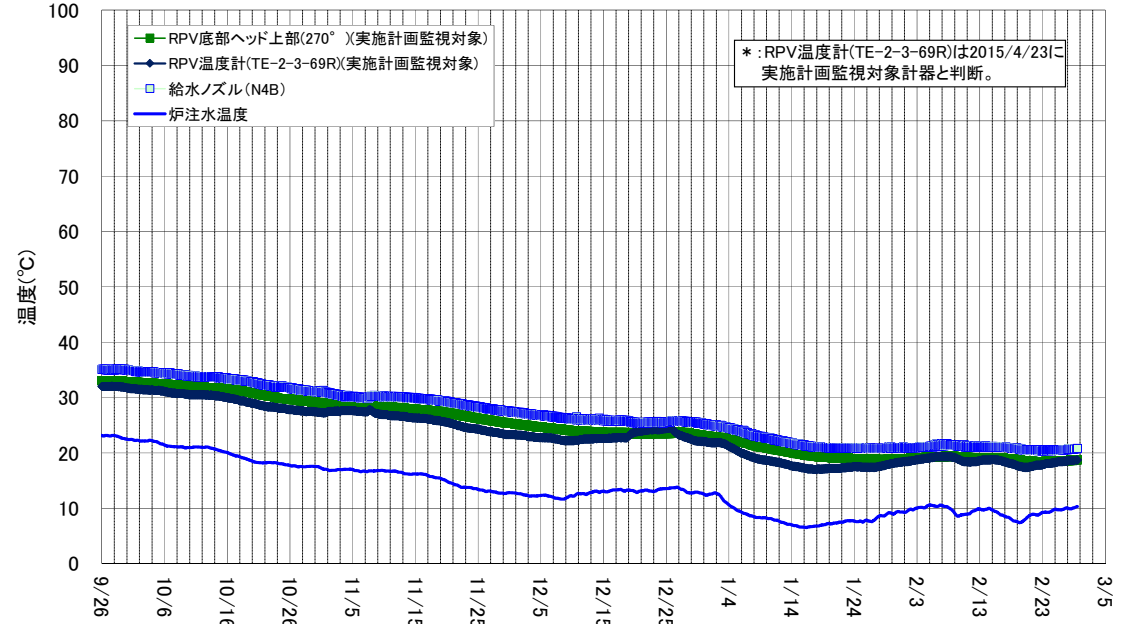
1号機 D/W雰囲気温度(9/26~2/28)



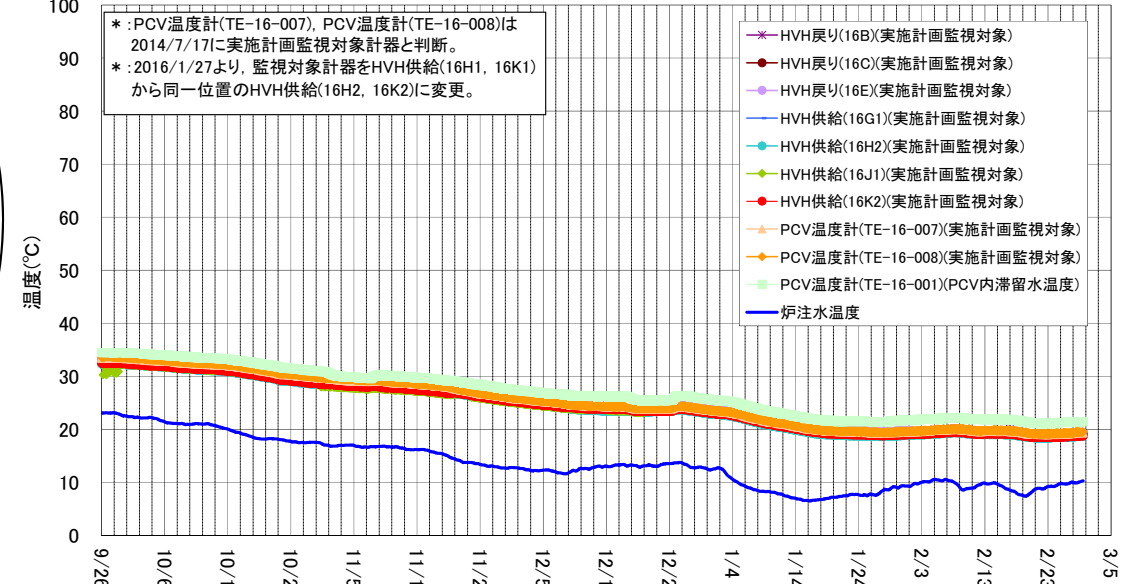
2号機



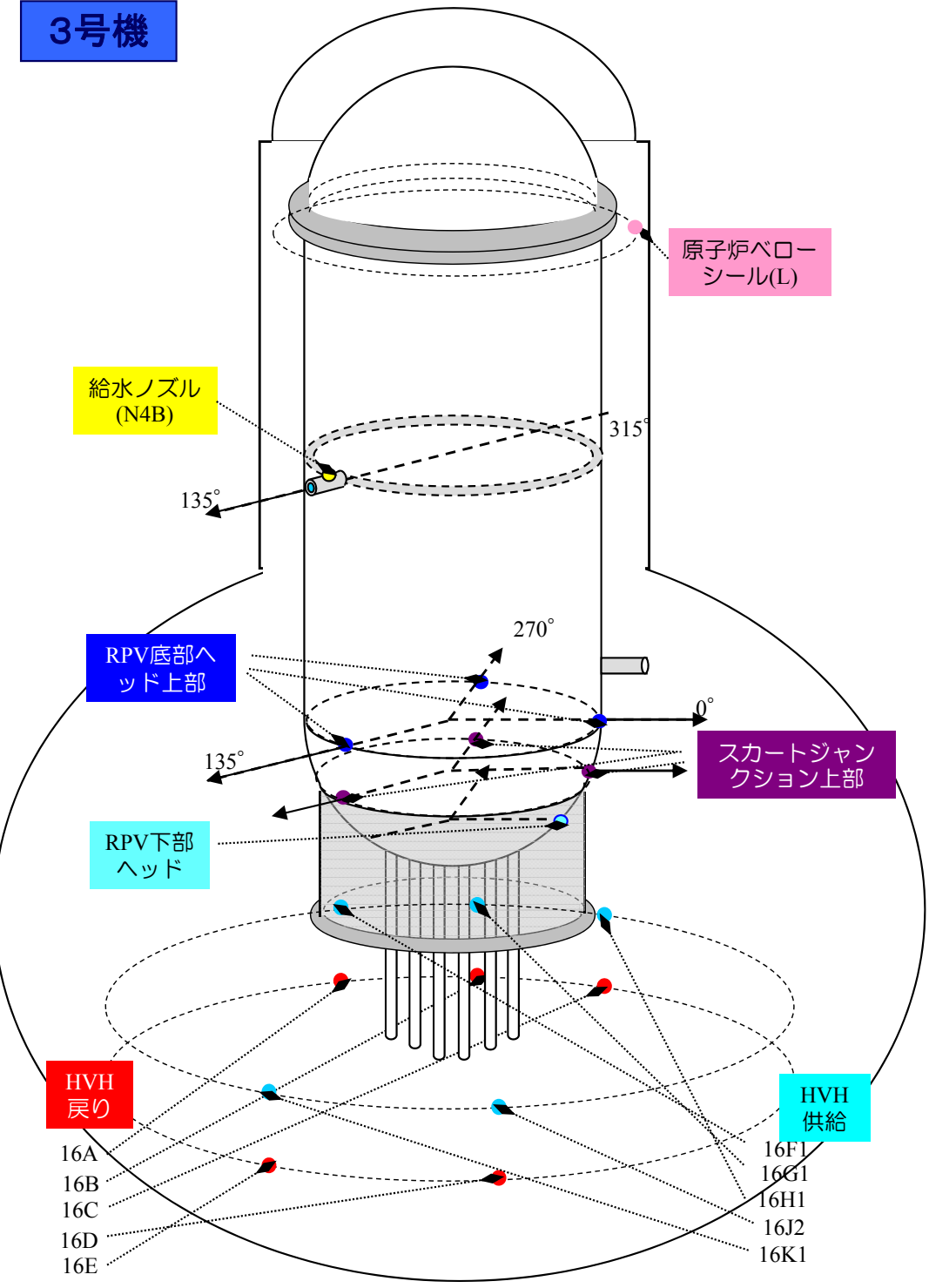
2号機 原子炉压力容器まわり温度(9/26~2/28)



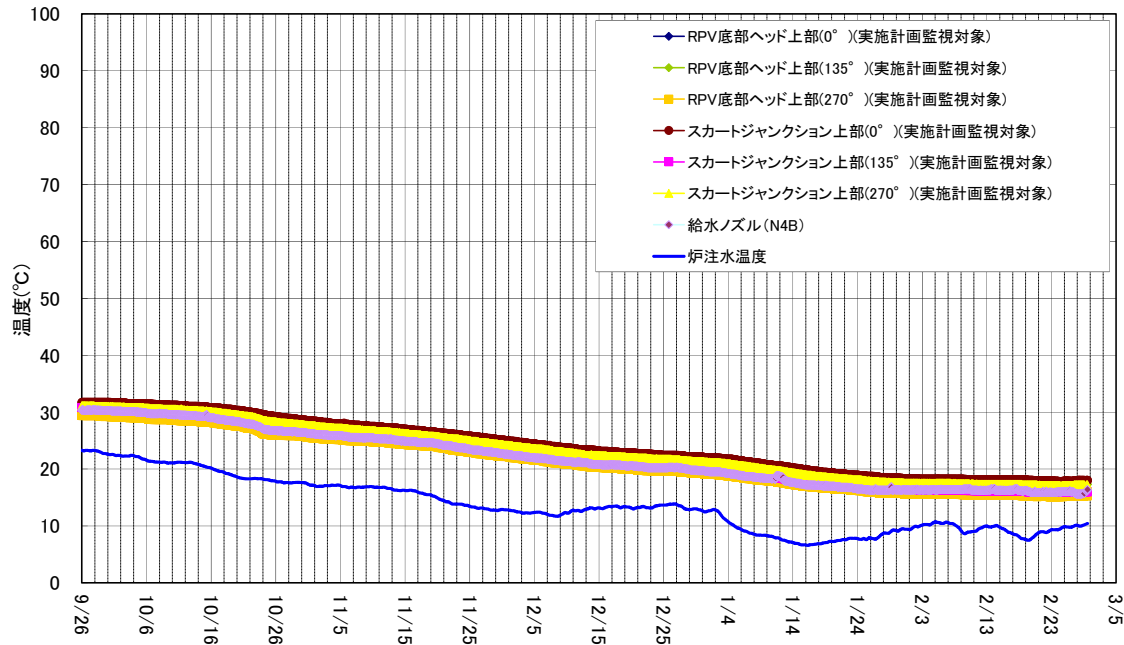
2号機 D/W雰囲気温度(9/26~2/28)



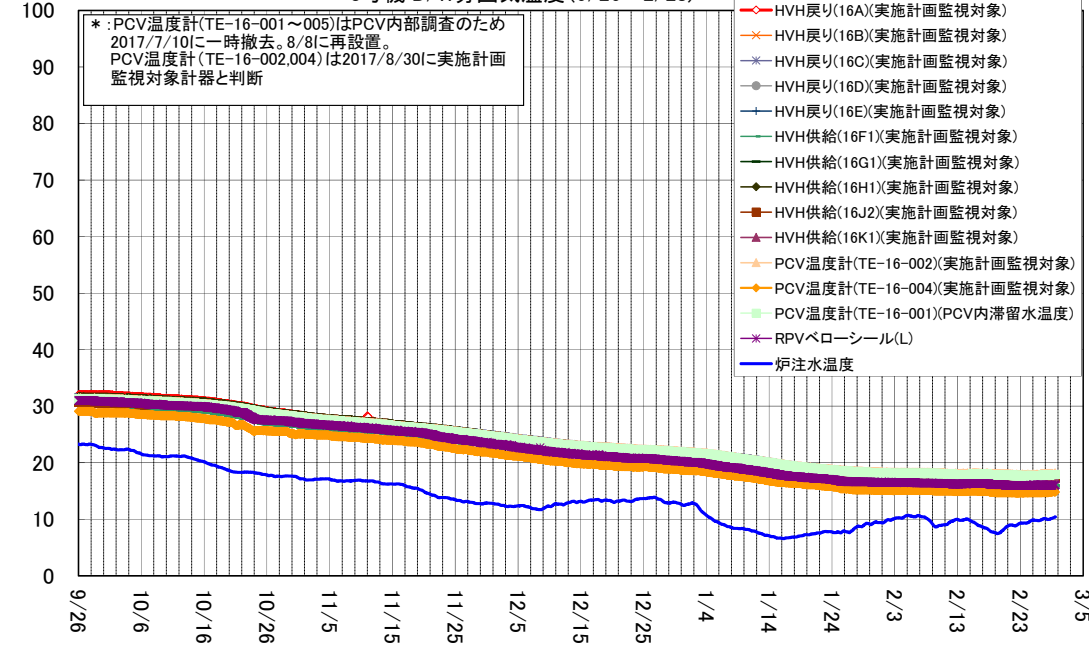
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度(9/26~2/28)



3号機 D/W雰囲気温度(9/26~2/28)



滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
- ②1~4号機タンク貯蔵量
 - ・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量
 - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
 - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

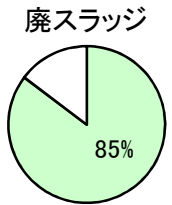
①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約4,620m ³	※7
2号機	約9,600m ³	T.P.397
3号機	約11,560m ³	T.P.226
4号機	約10,680m ³	T.P.403
合計	約36,460m ³	

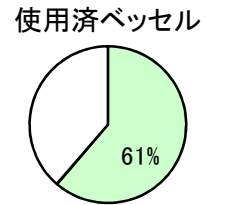
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約15,650m ³	T.P.3,075
高温焼却炉建屋	約3,780m ³	T.P.877
合計	約19,430m ³	

(合計):+2210[m³/4週](合計):+1990[m³/週]

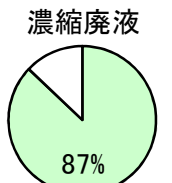
④廃棄物発生量



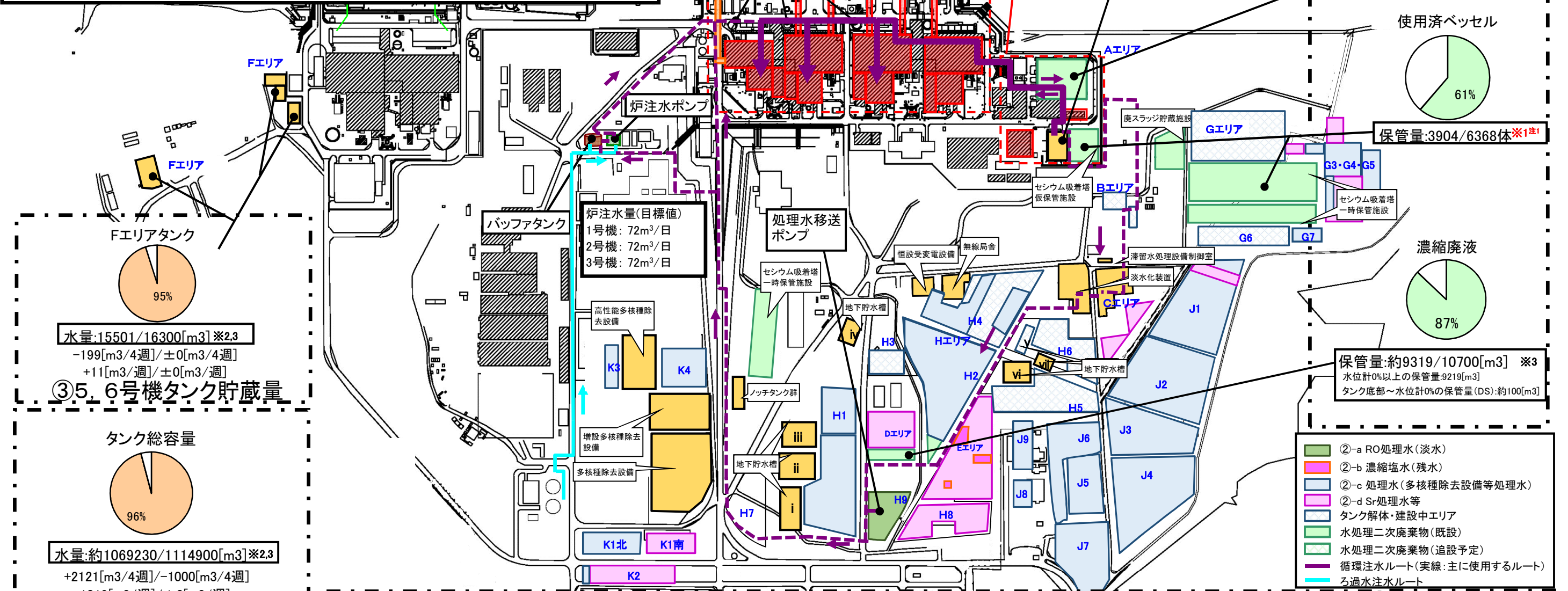
保管量:597/700[m³]*3



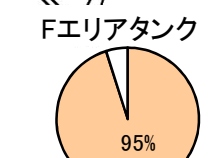
保管量:3904/6368体*1※1



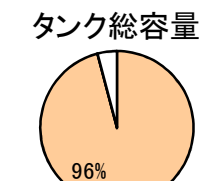
保管量:約9319/10700[m³]*3
水位計0%以上の保管量:9219[m³]
タンク底部~水位計0%の保管量(DS):約100[m³]



③5, 6号機タンク貯蔵量

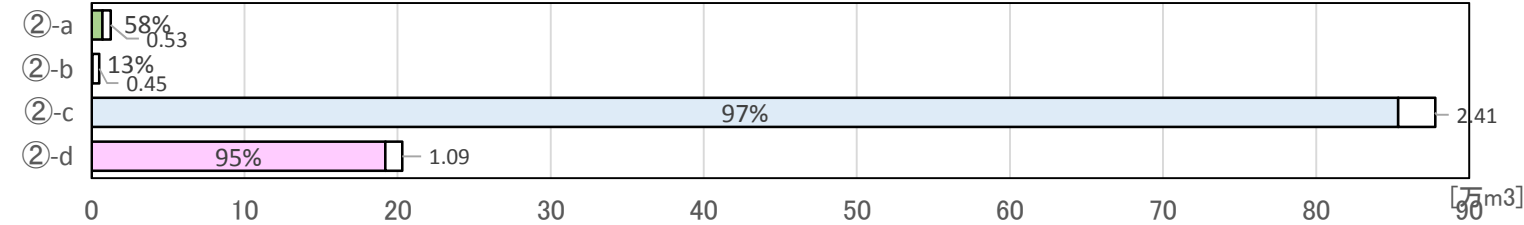


水量:15501/16300[m³]*2,3
-199[m³/4週]/±0[m³/4週]
+11[m³/週]/±0[m³/週]

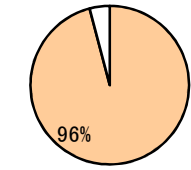


水量:約1069230/1114900[m³]*2,3
+2121[m³/4週]/-1000[m³/4週]
+1019[m³/週]/±0[m³/週]

タンク貯蔵量合計(②+③)



1~4号機タンク総容量



水量:約1112048[m³]

+5698[m³/4週] *5
+4098[m³/週]

建屋内貯蔵量
+
1~4号機タンク貯蔵量
(①+②)

②-a RO処理水(淡水)	②-b濃縮塩水(残水)	②-c 処理水 (多核種除去設備等処理済水)	②-d Sr処理水等
水量:約7256/12600[m ³]*2,3 水位計0%以上の水量:6356[m ³] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約900[m ³] -1690[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] -684[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	水量:約700/5200[m ³]*2,3 水位計0%以上の水量:約400[m ³] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約300[m ³] ±0[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] ±0[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	水量:約853708/877800[m ³]*2,3,4,6 水位計0%以上の水量:852108[m ³] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1600[m ³] +912[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] +1771[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	水量:約192065/203000[m ³]*2,4 水位計0%以上の水量:187965[m ³] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約4100[m ³] +3098[m ³ /4週]/-1000[m ³ /4週] -79[m ³ /週]/±0[m ³ /週]

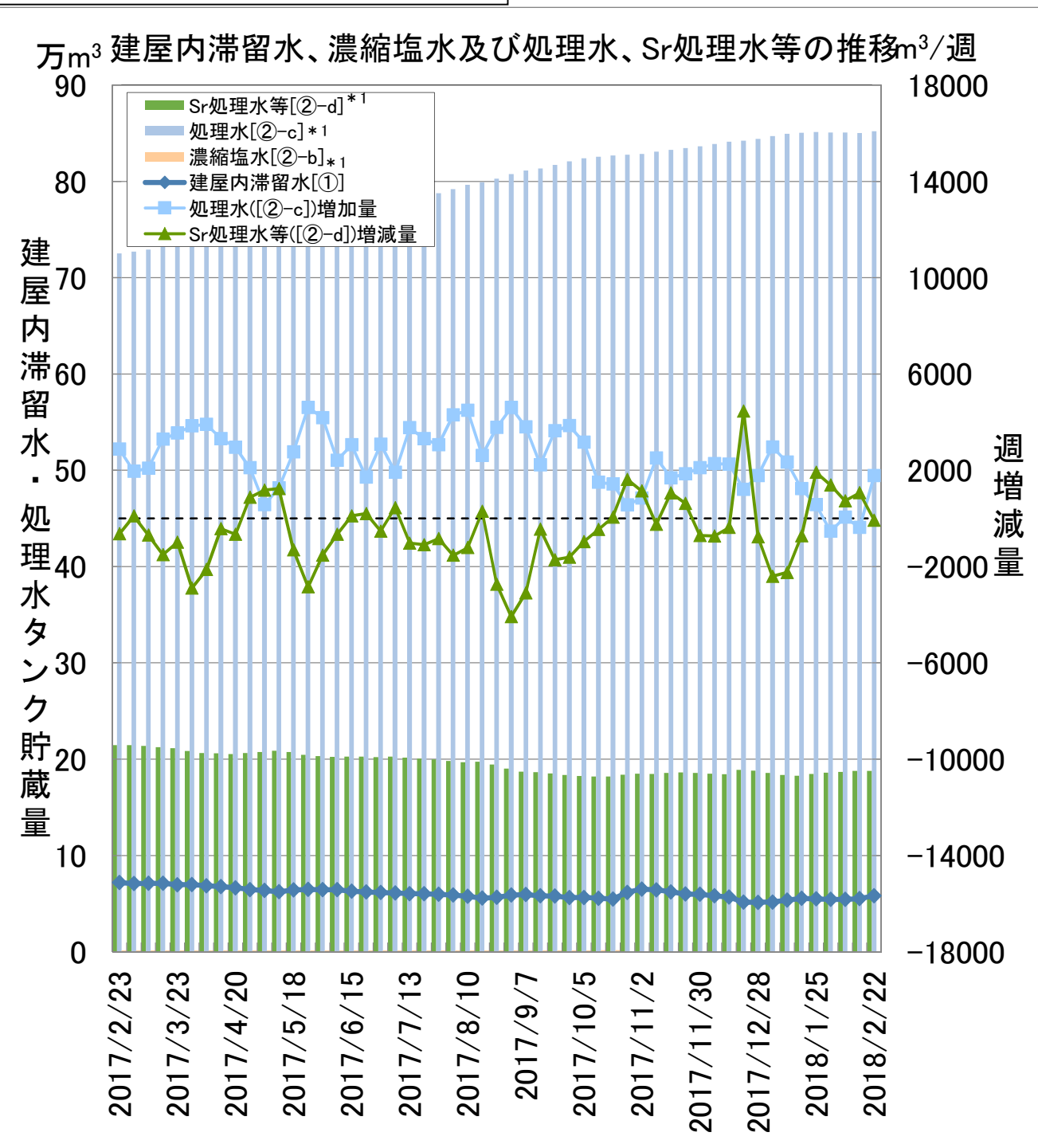
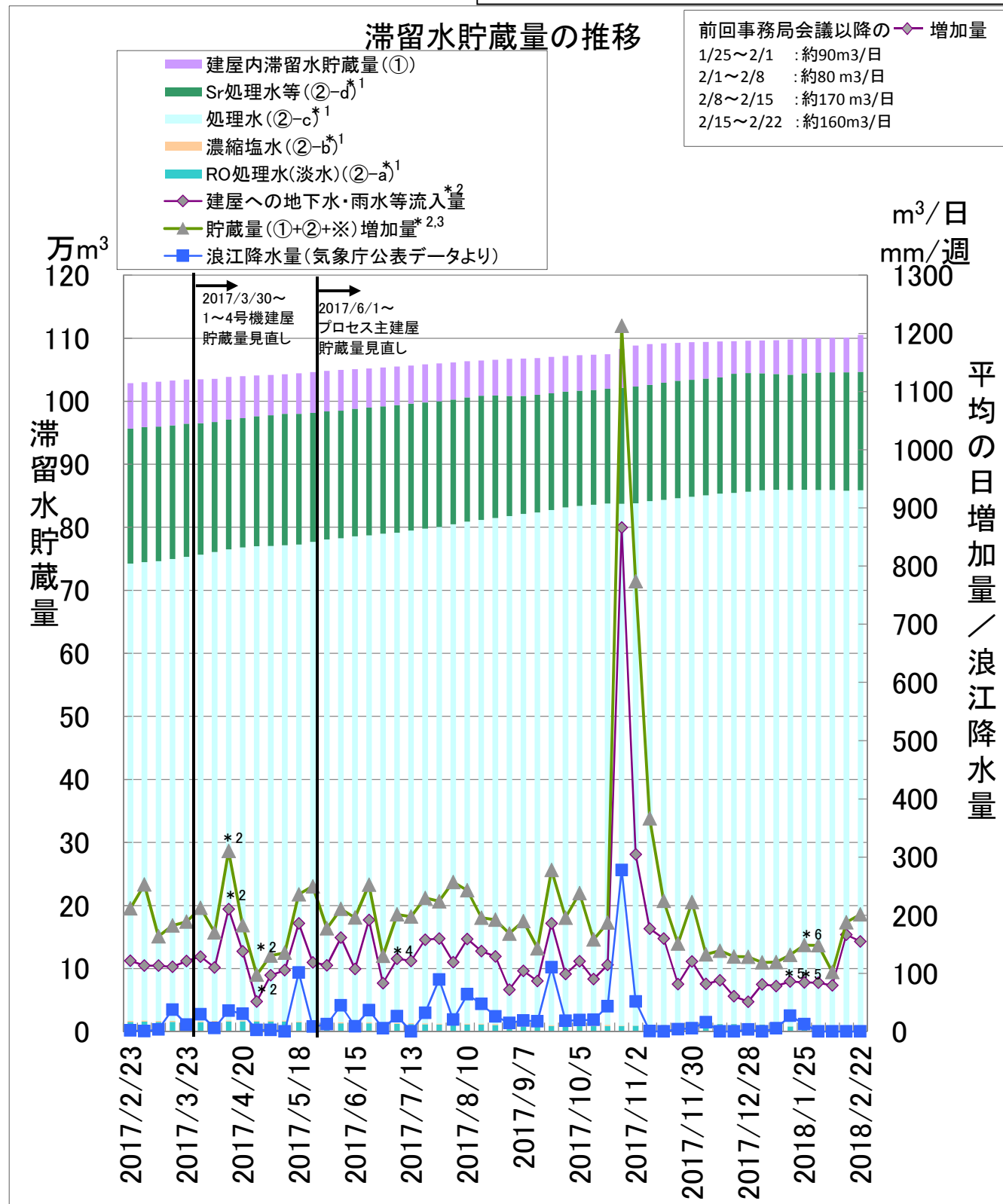
②1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時的貯留量(*2月26日時点の値を記載)
・ノッチタンク群 約100(±0[m³])/約600[m³]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
 ※2 装置稼働中につき水位が安定しないため参考扱い
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
 ※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約100m³/週)、その他移送量(約140m³/週)の合計約240m³/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
 ※7 1号機T/B建屋はすでに水抜きが完了しているため、水位を「-」表記する。

注1 ④廃棄物発生量 使用済ベッセル 保管量のうち、注記(※1)の記載漏れが確認されたため追記 (2018年12月27日)

滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量

(〔②-aRO処理水(淡水)〕+〔②-b濃縮塩水〕+〔②-c処理水〕+〔②-dSr処理水等〕)

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

*1: 水位計0%以上の水量
 *2: 集中RW建屋の貯蔵量算出に必要な水位に応じた断面積(評価値)の不確かさによるものと推定。
 2017/6/1の集計値以降、集中RW建屋の貯蔵量算出に必要な水位に応じた断面積(評価値)を見直し
 *3: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)]
 *4: 2017/7/5に実施した調査結果から、1号機T/B未調査エリアの水量が想定水量より少ないことが判明したため補正
 *5: 残水エリアへ流入した地下水・雨水等流入量を加味して再評価(2018/1/18,1/25)。
 *6: SARRY逆洗水を「貯蔵量増加量」に加味していたことから見直し。

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	370,365	186	27	750以上
増設多核種除去設備 ^{注2)}	412,188	1,585	226	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]	
セシウム吸着装置	823	118	600	
第二セシウム吸着装置			1200	

注1) 週間の平均値

注2) 既設・増設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

各エリア別タンク一覧

(2018年2月22日 現在)

※下線部は前回報告からの変更点

1～4号機用貯蔵タンク

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
D	31	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
E	44	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(A, C)	
	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	<u>32</u>	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C, R)	<u>Sr処理水等から雨水回収用に転用を反映(1基減)</u>
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
G4南	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	2基は未使用
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4北	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
J1	90	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備考
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	26	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去 設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核 種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	

合計 850

Sr処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、M:モバイル型ストロンチウム除去装置等

R:RO濃縮水処理設備、A:多核種除去設備等

濃縮廃液

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

5. 6号機用貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5. 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5. 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5. 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5. 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5. 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5. 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5. 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5. 6号機滞留水	Kタンク

合計 49

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

地下水・雨水等流入量及び貯蔵量増加量の 評価見直しについて

2018年03月01日

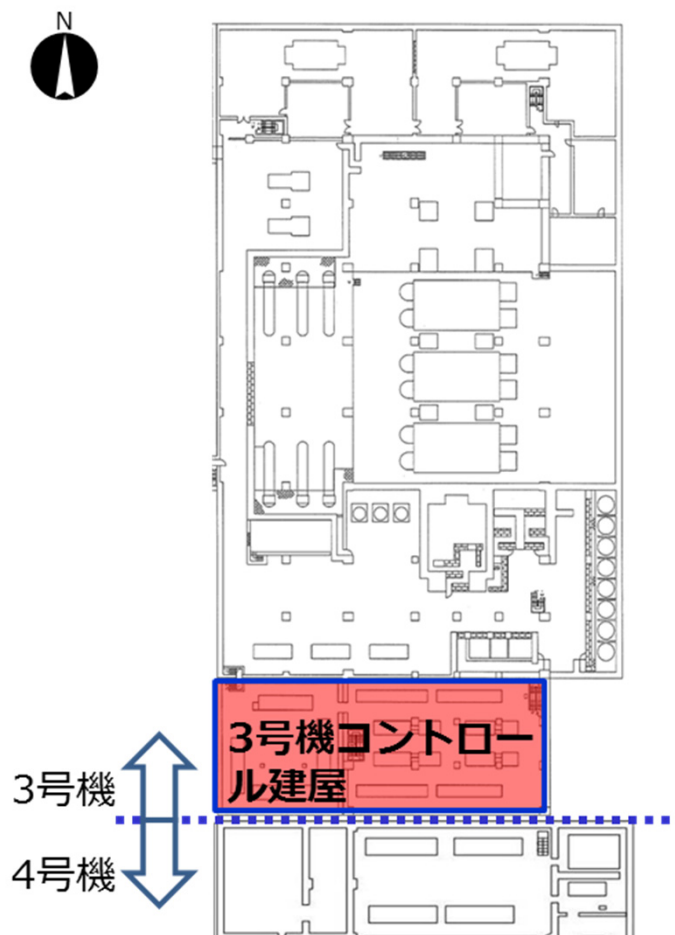
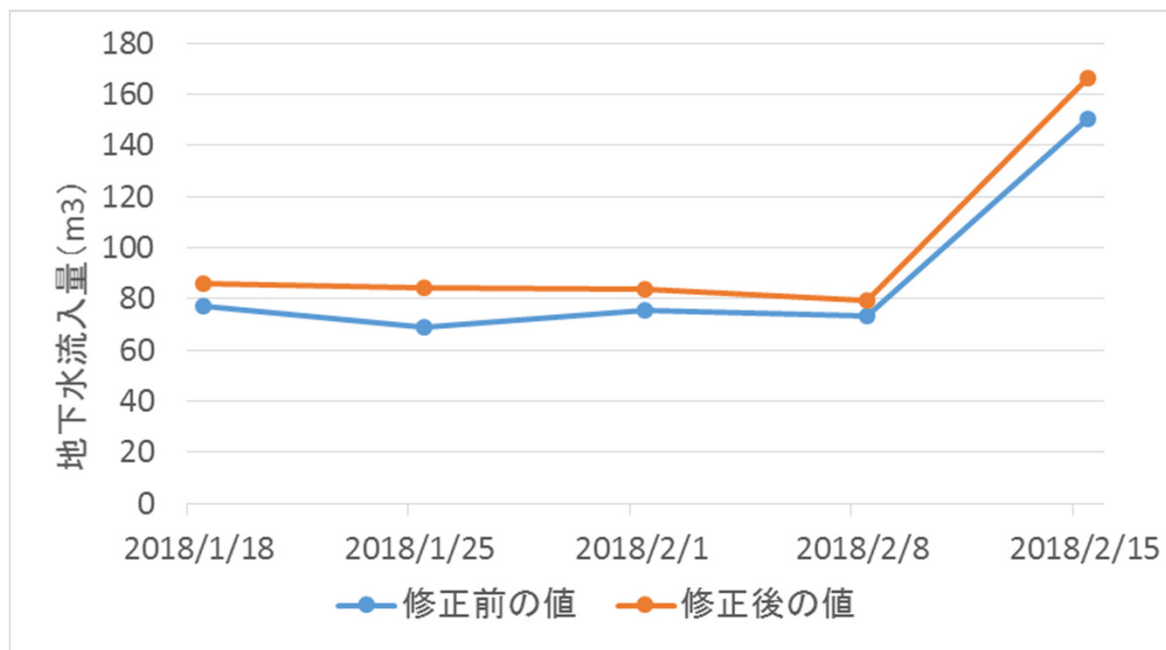
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

- 1～4号機建屋、プロセス主建屋、HTI建屋等への「地下水・雨水等流入量」評価及び汚染水の「貯蔵量増加量」評価について、以下の①②の通り変更・修正を行う
 - ① 2017年12月25日にタービン建屋水位を最下階中間部以下に低下後、複数の残水エリアを確認している。このうち、3号機コントロール建屋については、1月16日の排水開始後に水位上昇を確認したことから、地下水流入量の評価対象に含める変更を行う
 - ✓ 1日あたりの地下水流入量は、約10m³
 - ② 『廃炉・汚染水対策チーム会合 事務局会議（第50回）』（2018年2月1日開催）で示した「貯蔵量増加量」評価において、SARRY逆洗水を「貯蔵量増加量」に加味していたことが誤りであり、修正を行う
 - ✓ H29年平均237m³/日を235m³/日へ修正
 - ✓ SARRY逆洗は、SARRY処理後のSPT（B）の水を用いてSARRY吸着塔を逆洗し、プロセス主建屋へ排出するため、「貯蔵量増加量」に加える必要はない

① 「地下水流入量」 評価の変更について

- 2017年12月25日に2～4号機タービン建屋最下階中間部を露出させた際に、一部エリアに汚染水が残ることを確認した。
- これらのエリアについては地下水・雨水等流入量評価の対象外としていたが、3号機コントロール建屋については、1月16日の排水開始後に水位上昇を確認したため、地下水評価対象に含めることに方針を変更する。
- 3号機コントロール建屋の地下水流入量を加えると、5週間の平均で約10m³/日の増加となる。



② 「貯蔵量増加量」 評価の修正について

【修正内容】

- SARRY逆洗は、SARRY処理後のSPT (B) の水を用いてSARRY吸着塔を逆洗し、プロセス主建屋へ排出するため、「貯蔵量増加量」の算出に不要であり削除
- SARRY逆洗水を削除した結果、平成29年平均の貯蔵量増加量は237m³/日から235m³/日に変更

名称	H29年平均 H29.1.5集約 ～ H29.12.28集約
貯蔵量増加量 (見直し前)	220m ³ /日
貯蔵量増加量 (見直し後)	235m³/日

【『廃炉・汚染水対策チーム会合 事務局会議（第50回）』資料抜粋】

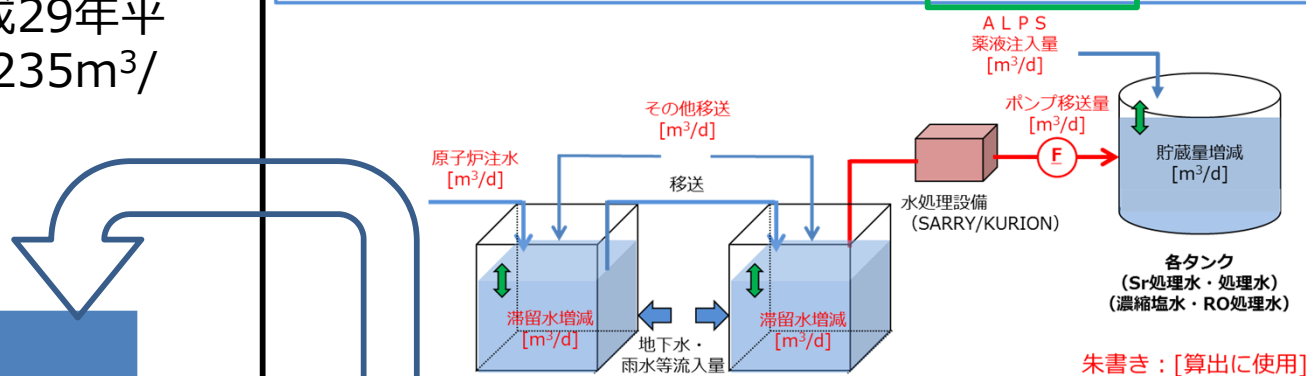
【見直し後の算出方法】

$$\begin{aligned}
 (\text{貯蔵量増加量}) &= (\text{地下水・雨水等流入量}) + (\text{その他移送量}) + (\text{ALPS薬液注入量}) \\
 &= (1\sim 4\text{号機滞留水増減量} + \text{集中ラド滞留水増減量} - \text{原子炉注入量} - \text{その他移送量} + \\
 &\quad \text{ポンプ移送量}) + (\text{その他移送量}) + (\text{ALPS薬液注入量})
 \end{aligned}$$

【参考】

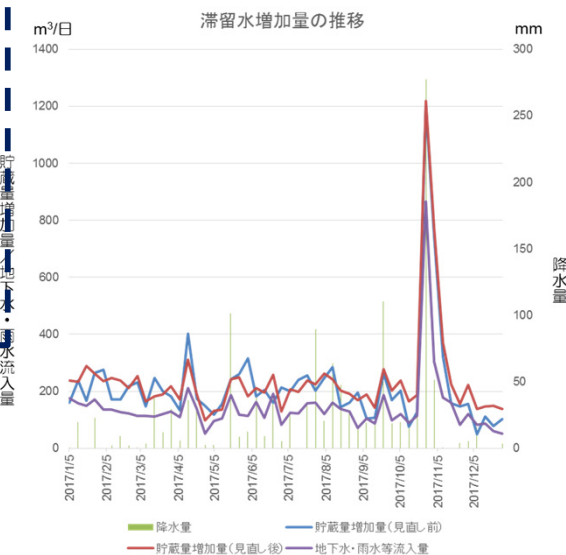
$$\begin{aligned}
 (1\sim 4\text{号機滞留水増減量} + \text{集中ラド滞留水増減量}) &= (\text{滞留水流入量}) - (\text{滞留水流出量}) \\
 &= (\text{原子炉注入量}) + (\text{その他移送量}) + (\text{地下水・雨水等流入量}) - (\text{ポンプ移送量})
 \end{aligned}$$

その他移送量内訳：「マスク洗浄水,ラボ廃液」,「オペフロへの散水」,「SARRY逆洗水」,「ウェル移送量」等



名称	H29年平均 H29.1.5集約 ～ H29.12.28集約
貯蔵量増加量 (見直し前)	220m ³ /日
貯蔵量増加量 (見直し後)	237m³/日

※「貯蔵量増加量」の2017年12月から2018年1月までの平均値は、見直し後で約140m³/日である。



汚染水等構内溜まり水の状況（2018.3.1時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する 建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する 建屋	降雨量により変動	[上屋] Cs134: 200~340 Cs137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr90: 10~20 H3: ND(<100) (2015.1.16)
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,000 (2015.4.16時点)	Cs134: 1.1E1 Cs137: 7.0E1 Co60: — (2017.5.24)
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 7.7E0 Cs137: 4.3E1 Co60: — (2016.10.3)
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、 第三施設)	・吸着塔一時保管施設 (第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルパート内 の水は拭き取り実施 済み)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物 (SARRY、KURION、ALPS処理カラ ム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設 (第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137: 2.0E3~1.6E7 Sr90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)
5	No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	約1(一部1cm残水あ り)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)
6	4000tノッチタンク (角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	約100 (2017.7.24時点)	【3000tノッチタンク】 水抜き済 【1000tノッチタンク】 Cs134: 3.6E0 Cs137: 2.7E1 全β: 2.2E5 (2017.6.1)
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタ ンク (スラリー/濃縮水)	タンクエリア (Cエリア)	約85 (2015.6.9時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)
8	淡水貯留タンク (G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク (横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.3.1時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
9	5、6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・5号機逆洗弁ピット ・6号機逆洗弁ピット	5、6号機スクリーン近傍	(5号機吐出弁ピット) 約550 (6号機吐出弁ピット) 約850	【5号機吐出弁ピット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.4E0 【6号機吐出弁ピット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.7E0 【5号逆洗弁ピット】 (2016.10.3) Cs134: 3.0E0 Cs137: 1.9E1 【6号逆洗弁ピット】 (2016.10.3) Cs134: 1.5E0 Cs137: 1.1E1
10	1～4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134: 1.2E2 Cs137: 9.7E2 全β: 1.1E3 (2017.6.19) 【2号機T/B上屋】 Cs134: 7.9E1 Cs137: 5.4E2 全β: 5.0E2 (2017.6.19)
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134: 2.9E+4 Cs137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	・2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2260 (2015.6.17現在)	Cs134: 1.7E+4 Cs137: 5.7E+4 全β: 4.2E+6 (2015.3.23)
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	・3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2120 (2015.6.17現在)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2017.12.5) (2018.1.19) H3: 1.5E6 1.4E6 Sr90: ND ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134: 2.1E+3 Cs137: 8.0E+3
14	4号CSTタンク(溶接タンク)	4号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2000	【プラント復水】
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	一※ (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.1E6 (2017.9.13) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.1E5 1.2E5 (2018.1.24) (2018.2.21) H3: 1.2E3 1.1E3 (2018.1.3) (2018.2.7)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	約300 (2017.3.29)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 2.7E6 2.7E6 (2017.10.27) (2018.1.26) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 8.0E3 1.4E4 (2018.1.24) (2018.2.21) H3: ND ND (2018.1.3) (2018.2.7)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	約150 (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.9E6 (2017.9.13) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.6E4 1.0E5 (2018.1.25) (2018.2.22) H3: ND 1.1E3 (2017.12.7) (2018.2.1)

※: 水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.3.1時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—※ (2016.4.21)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：7.9E4 (2017.9.12)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	約120 (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β：9.0E6 (2017.9.12) (参考：漏えい検知孔水) 全β：2.6E1 (2017.12.28) H3：ND (2017.12.7)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	約90 (2016.4.21)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：1.7E2 (2017.9.12)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約2~1200 (2016.10~2017.1)	Cs134:1.4E1~2.1E2 Cs137:8.1E1~1.3E3 全β：1.0E0~1.6E3 H3：ND~5.7E2 (2016.10~2017.1)
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2015.11)	Cs134:1.2E1 Cs137:8.1E1 全β：8.3E1 H3：ND (2016.10)
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約3000	Cs134:3.8E0 Cs137:3.2E1 全β：3.4E1 (2017.10.31)
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	— 【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β：4.2E6 H3：1.5E5 (2015.2.27)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約790 (2016.10)	Cs134:1.4E2 Cs137:8.4E2 全β：1.1E3 H3：ND (2016.10)
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了	—
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約7~820 (2015.10~2016.1)	Cs134:ND~2.2E2 Cs137:ND~9.2E2 全β：5.1E1~1.4E3 H3:ND~3.1E2 (2015.10~2016.1)

※：水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.3.1時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
29	1～4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20m ³	No.16 Cs134:1.0E5 Cs137:8.1E5 全β: 8.3E5 H-3: 2.7E3 (2017.6.22)
30	その他1～4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134:ND～3.9E1 Cs137:4.8E1～9.6E1 全β:7.9E1～2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)
31-1	1～4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	(1号機逆洗弁ピット) 約300 (2016.7.11) (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2016.7.11) (3号機逆洗弁ピット) 約700 (2016.7.11) (4号機逆洗弁ピット) 約1300 (2016.7.11)	(1号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:4.4E3 Cs137:2.5E4 全β:2.9E4 H3:2.6E2 (2号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:1.4E2 Cs137:8.0E2 全β:9.3E2 H3:ND (3号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.4E3 Cs137:1.2E4 全β:1.5E4 H3:5.3E2 (4号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.3E2 Cs137:1.2E3 全β:1.3E3 H3:ND
31-2	1-4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	【1号機吐出弁ピット】 0 (2015.11) 【4号機吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 — 【4号機吐出弁ピット】 —
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海 側	約3800	【放水路上流側立坑】 (2018.1.26) (2018.2.23) Cs134:2.5E2 2.2E2 Cs137:2.3E3 2.0E3 全β:4.1E3 3.8E3 H3:5.0E2 4.9E2
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋 海側	約3000	【放水路上流側立坑】 (2018.1.26) (2018.2.23) Cs134:1.0E2 9.6E1 Cs137:8.8E2 9.5E2 全β:2.9E3 2.6E3 H3:5.2E2 4.9E2
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋 海側	約600	Cs134:2.6E2 Cs137:1.1E3 全β:1.7E3 H3:9.0E2 (2015.6.10)
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1000	Cs134:ND Cs137:ND Co60:2.1E1 (2017.6.14)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1250	Cs134:ND Cs137:ND Co60:2.9E1 (2017.7.6)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレン チ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134:ND～2.2E2 Cs137:ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.3.1時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND～0.34 Cs134: ND～0.95 全β: ND～2.6 H-3: ND～25 (採水期間: 2014.8～2014.11)
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND Cs137: ND (2017.7.13)
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約9000 (2017.3)	No.5VOID Cs134: ND Cs137: 2.7 Sr90: ND H3: ND (2017.2.16)
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約6000 (2015.6時点)	【5号機】 Cs134: ND Cs137: ND H3: ND 全β: ND (2017.5.22) 【6号機】 Cs134: 1.3E0 Cs137: 6.1E0 H3: 3.5E2 全β: 1.5E1 (2017.5.23)
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット ・3/4号排気筒ドレンサンピット ・5/6号排気筒ドレンサンピット ・集中RW排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンピット 約0.3※ 3/4号サンピット 約2 5/6号サンピット 約5 集中Rwサンピット 約20 ※適宜溜まり水の移送を実施	【1/2号サンピット】 (2017.12.6) 全β: 1.5E7 Cs134: 1.8E6 Cs137: 1.6E7 【3/4号サンピット】 (2016.3.17) 全β: 1.3E3 Cs134: 2.4E2 Cs137: 1.1E3 【5/6号サンピット】 (2015.9.16) 全β: 7.6E1 Cs134: 1.2E1 Cs137: 4.7E1 【集中Rwサンピット】 (2015.12.17) 全β: 7.6E2 Cs134: 1.5E2 Cs137: 6.6E2
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)